

令和元年度多摩市高齢者在宅療養支援窓口の相談実績および令和2年度活動計画

1. 令和元年度 多摩市高齢者在宅療養相談支援窓口 職種別相談者内訳

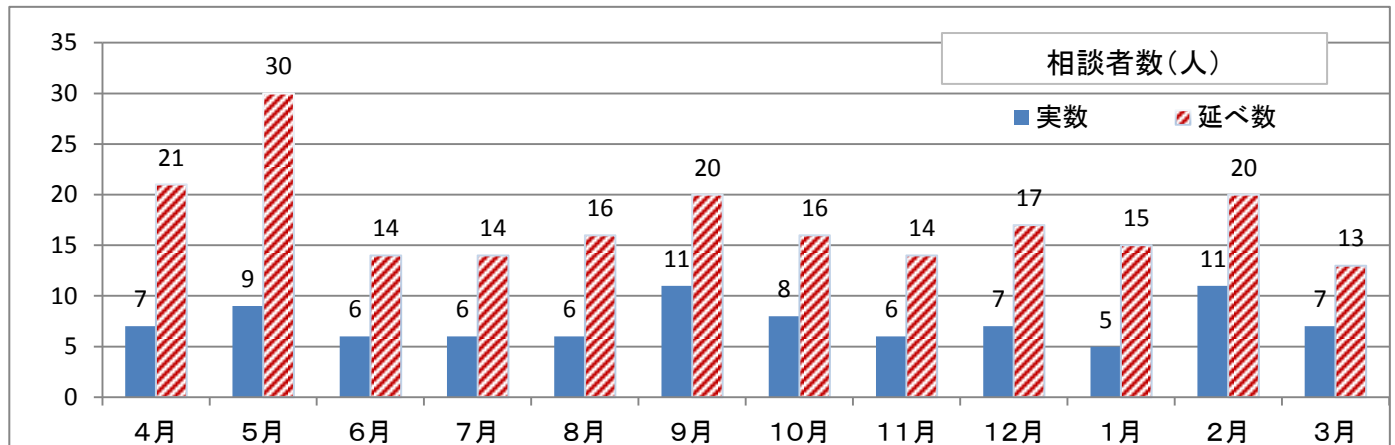
相談者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉関係	包括支援センター	1	2	1	1		2	4	2	1		2		16
	保健所													0
	行政													0
	社会福祉協議会									1				1
医療関係	医療機関													0
	診療所医師				1					1		1	1	4
	歯科医師													0
	診療所看護師													0
	病院看護師		1											1
	病院相談員	1			2					1		1	1	6
	診療所相談員													0
介護関係	訪問看護		1		1					1				3
	ケアマネジャー		1	1		1	1	1			3	1	1	10
	デイサービス職員			2					1			1		4
	その他の職員							1						1
市民		5	4	2	1	5	8	2	3	2	2	5	4	43
令和元年度全相談者数		7	9	6	6	6	11	8	6	7	5	11	7	89

2. 多摩市高齢者在宅療養支援窓口 月別相談者内訳

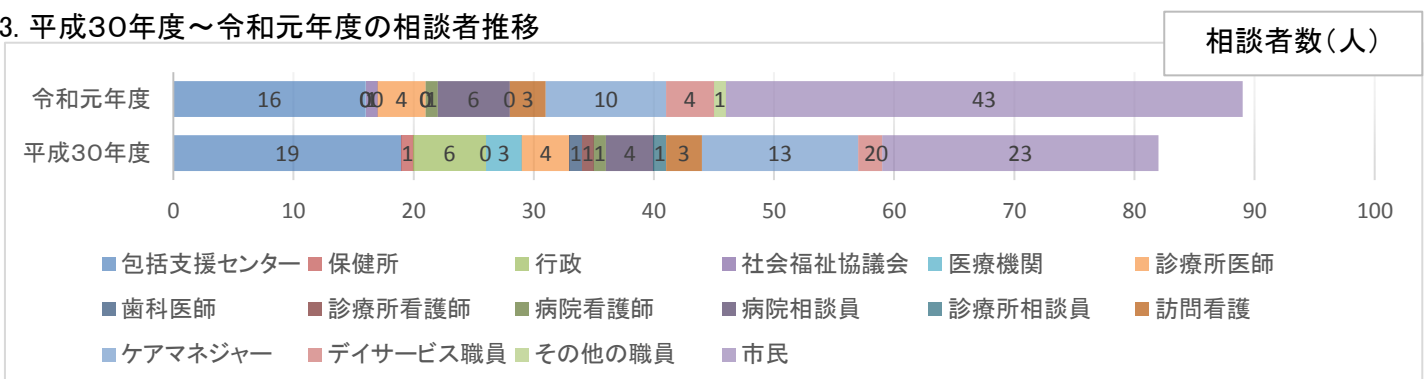
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
令和元年度実数	7	9	6	6	6	11	8	6	7	5	11	7	89
延べ数	21	30	14	14	16	20	16	14	17	15	20	13	210
平成30年実数	7	6	11	6	8	6	7	8	4	8	6	5	82

※相談者延べ数とは、相談者1人に対し複数対応する場合もあるため集計

※令和元年度より延べ数を集計している



3. 平成30年度～令和元年度の相談者推移



4. 2年間(平成30年度、令和元年度)の活動における分析と今後の方針

(活動における分析)

- ・相談件数は毎年増加し、昨年比は10%増加した。令和元年は、支援者からの相談が増加した。対象者の年齢で見ると、後期高齢者の相談が多く、市民本人からの相談では、90%が後期高齢者であった。
- ・介護認定未申請の方や、介護度があっても、適切に医療介護につながっていない方もいて、相談後に、医療や介護につながった。
- ・相談区分では、約60%が、医療情報の提供であるが、介護相談や、サービス利用そのものの相談も多くなっている。相談後に、地域包括支援センター、保健所、関係機関につながり、相談継続支援になっている。
- ・毎年医療機関リスト等を更新作成し、情報提供に役立てることができている。
- ・関係機関の中でも、地域包括支援センターからの相談は困難事例などが多く、適切に医療情報を提供し、病院への橋渡しを行い、病院との連携をとった結果、スムーズに入院などにつながった。
- ・活動を通して、近隣の相談窓口との顔の見える関係ができたため、相談員同士で連携できるようになった。

(今後の活動方針)

- ・医師会、歯科医師会、薬剤師会などに加入されていない、機関の情報収集をする。
- ・市民の在宅療養に対する認知度も低いと感じるため、在宅療養の認知向上のために、ホームページの内容や窓口ニュースの内容も検討し、改善していく。
- ・職員の質向上のための研修参加を継続実施する。
- ・入退院連携の強化のために、在宅従事者と病院などの医療機関従事者との利器促進のための相互研修企画

5. 令和2年度 活動計画

今年度の主な活動： 窓口お便り発行(年2回予定)
 多摩市内病院における退院支援部門(相談窓口)の一覧表の作成
 相談実績からの分析、考察からみる課題抽出

上半期		下半期	
4月		10月	病院退院支援体制一覧表の作成、第2回協議会出席
5月		11月	病院相談員と一覧表の最終確認、修正
6月	年間スケジュールの確認、窓口お便り発行	12月	病院退院支援体制一覧表の完成、窓口お便り発行
7月	病院相談員への連絡調整	1月	病院退院支援体制一覧表の周知(MCS活用)
8月	病院相談員への連絡調整	2月	第3回協議会での相談実績からの分析、考察からみる課題抽出について報告
9月	病院退院支援体制一覧表の作成	3月	今年度の振り返りと次年度の計画、病院相談員と今後の一覧表の取り扱いや更新について調整